

LRG

ロイシンリッチα2グリコプロテイン (leucine-rich alpha-2-glycoprotein)

血清タンパク質の一つであるロイシンリッチα2グリコプロテイン (LRG, leucine-rich alpha-2-glycoprotein) は、ロイシンリッチリピート構造をもつことが報告された初めてのタンパク質であり、1985年にヒトLRGの配列が決定されています。その生理機能についてはまだ解明されていませんが、特発性正常圧水頭症をはじめとして、糖尿病や膵がんなどで有意に上昇するタンパク質として注目されています。本測定キットは、脳脊髄液、血液および尿中のLRGを測定するELISAキットです。

特発性正常圧水頭症と認知症

特発性正常圧水頭症とは、髄液圧が正常であるにもかかわらず脳室が拡大し、歩行障害、認知症、尿失禁を伴う病態をいいます。認知症患者の内、約5%は特発性正常圧水頭症が原因であると推定されています。特発性正常圧水頭症患者の髄液中ではLRGタンパク量が増加する傾向があります(文献1)。

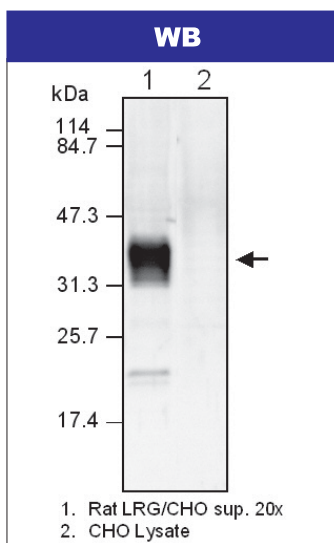
脳脊髄液中のLRG測定により、アルツハイマー病などの神経変性疾患から特発性正常圧水頭症(iNPH)を鑑別することが可能となり、今後、iNPHの早期診断の補助および早期治療による予後の改善につながることを期待されます。

LRG ELISA Kit

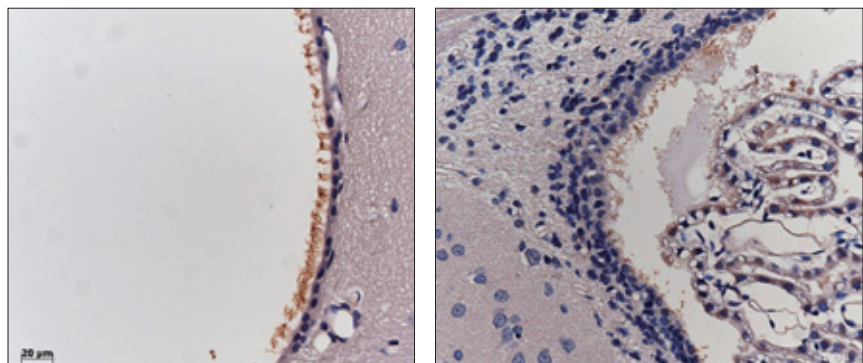
製品番号	製品名	容量	価格	測定範囲	反応時間	測定対象
27769	Human LRG Assay Kit - IBL	96 Well	¥ 98,000	1.56 ~ 100 ng/mL	1次反応: 4°C, Overnight 2次反応: 37°C, 30分	脳脊髄液、血清、EDTA血漿、尿

LRG Antibody

製品番号	製品名	容量	価格	適用	特異性
28069	Anti-Rat LRG (128) Rabbit IgG Affinity Purify	100 μL	¥ 58,000	IHC, WB	Rat LRG に特異的
		10 μL	¥ 15,000		



IHC ラット (脈絡叢、脳室周囲)



本抗体は、ラット脈絡叢細胞と上皮細胞の cilia を特異的に染色することができます。

参考文献:

- Li X, Miyajima M, Mineki R, Taka H, Murayama K, Arai H. Analysis of potential diagnostic biomarkers in cerebrospinal fluid of idiopathic normal pressure hydrocephalus by proteomics. Acta Neurochir (Wien). 2006 Aug;148(8):859-64